

基本構想（素案）及び基本計画（素案）に対する
分野別市民懇談会

結果報告書

令和7年（2025年）3月

朝霞市

目次

1 分野別市民懇談会の概要	1
1-1 実施の目的	1
1-2 開催日時・場所	1
1-3 参加者	1
1-4 各回の進め方	1
2 分野別市民懇談会の結果	2
1-1 都市建設部会の開催結果	2
1-2 意見概要	3
2-1 教育部会の開催結果	12
2-2 意見概要	13
3-1 市民環境部会の開催結果	18
3-2 意見概要	19
4-1 健康福祉部会の開催結果	24
4-2 意見概要	25
5-1 総務部会の開催結果	28
5-2 意見概要	29
3. 資料	37

1 分野別市民懇談会の概要

1-1 実施の目的

第6次朝霞市総合計画の策定に当たり、前期基本計画（素案）に対する市民の意見を聴取するために実施した。

1-2 開催日時・場所

令和7年2月1日（土）	中央公民館・コミュニティセンター	展示ギャラリー
第1回	午前10時30分～正午	
第2回	午後1時30分～午後3時	
第3回	午後3時30分～午後5時	
令和7年2月2日（日）	中央公民館・コミュニティセンター	第1、第2集会室
第4回	午前10時30分～正午	
第5回	午後1時30分～午後3時	

1-3 参加者

	計75人
第1回	21人
第2回	14人
第3回	12人
第4回	14人
第5回	14人

1-4 各回の進め方

基本構想（素案）の内容及び各分野の基本計画（素案）の内容等について職員から説明後、グループに分かれて基本計画（素案）に対する意見交換を行った。その内容をもとに、グループごとに発表を行った。

【運営体制】

各部会職員	計90人
第1回 都市建設部会	22人
第2回 教育部会	18人
第3回 市民環境部会	13人
第4回 健康福祉部会	21人
第5回 総務部会	16人
政策企画課	7人

2 分野別市民懇談会の結果

1-1 都市建設部会の開催結果

- 1 日 時 令和7年2月1日（土）午前10時30分～正午
- 2 会 場 中央公民館・コミュニティセンター 展示ギャラリー
- 3 参加者 計43人（市民21人、職員22人）
- 4 グループディスカッション（テーブル数6）

No.	テーマ	テーブル番号
1	土地利用	1
2	災害対策・防犯	2
3	住宅	3
4	みどり・景観	4
5	道路交通	5
6	上下水道整備	6



1-2 意見概要

テーブル番号	1
ディスカッションテーマ	土地利用（第5章）

主な意見

【大柱：1 土地利用 中柱：（1）利便性の高いまちづくり 小柱：①適正な土地利用】

- ・商業地域の範囲が広過ぎる。
- ・254バイパス周辺の利活用を望む。
- ・陽当たりの良い静かな住環境の整備を望む。

【大柱：1 土地利用 中柱：（1）利便性の高いまちづくり 小柱：②きめ細かな交通ネットワークの形成】

- ・都心へのアクセスが良い。
- ・公共交通を手厚くしてほしい。
- ・隣まちと行き来しやすくなると良い。

【大柱：1 土地利用 中柱：（2）特性に応じたまちづくり 小柱：①土地区画整理事業による良好な環境形成】

- ・あずま南区画整理のエリアを中心にどのようなまちづくりができるか。

【大柱：1 土地利用 中柱：（2）特性に応じたまちづくり 小柱：③地区特性に応じた計画的利用の促進】

- ・夜間の騒音が少なくて良い。
- ・みどりと川に囲まれたまちづくり。
- ・起伏に富んだ土地の活用。

【大柱：1 土地利用 中柱：（3）人中心のまちづくり 小柱：②公共空間の利活用】

- ・ウォーカブルエリアとしての活用。

テーブル番号	2
ディスカッションテーマ	災害対策・防犯（第1章）

主な意見

- 【大柱：1 災害対策・防犯 中柱：－ 小柱：－ 】
 （防災、防犯にかかわらず、またもっと広い意味も含めるため項目立てせず）
- ・世代や国籍等の違いで差がある。
 - ・防災意識の共有、地域のつながりをつくる。
- 【大柱：1 災害対策・防犯 中柱：（1）災害対策の推進 小柱：③災害（地震・火災・水害）に強いまちづくり】
- ・災害対策は良い、台地があって良い。
 - ・河川や崖地が心配。
 - ・内水も心配。
- 【大柱：1 災害対策・防犯 中柱：（2）地域防災力の強化 小柱：③地域防災の連携】
- ・地域の連携が重要。
- 【大柱：1 災害対策・防犯 中柱：（4）防犯のまちづくりの推進 小柱：②防犯環境の整備】
- ・暗い道がある。

テーブル番号	3
ディスカッションテーマ	住宅（第5章）

主な意見

【大柱：4住宅 中柱：（1）安心して快適な住環境の整備 小柱：①空き家対策の推進】

- ・ 空き家を誰が解体するのかという問題がある。
- ・ 住宅確保要配慮者の空き家への居住を推進。
- ・ 空き家を改修し、若者向けの店舗などに利活用すると良い。

【大柱：4住宅 中柱：（1）安心して快適な住環境の整備 小柱：②良質な住宅ストック形成の促進】

- ・ 朝霞市はマンション政策が近隣市に比べて先進的。
- ・ マンションについて、地域の意見交換の場をまた設けてほしい。
- ・ 耐震化の進捗を把握し、国の補助金等も活用しつつ推進する。
- ・ ご近所トラブルに関するワンストップ相談窓口があれば良い。

【大柱：4住宅 中柱：（2）安定した住生活の確保・支援 小柱：①住宅確保要配慮者への居住確保の促進】

- ・ 今後さらに高齢者が増えるため住宅確保要配慮者も増えるおそれがある。
- ・ 住宅確保要配慮者への空き家及びマンション空き室への居住を推進。
- ・ 市営住宅等の戸数をもっと増やすべき。

【その他全般】

- ・ 将来的な人口減少が見込まれるのが課題で、若者文化の活性化が重要。住宅問題と人口問題は密接に絡んでいる。定年も延びて世代間交流が一層大切になる。
- ・ 朝霞市は交通の便が良く、閑静な住宅街で住みやすく良い。一方で、緑が減りつつあるのは課題。
- ・ ダイチャリだけでなく三輪自転車もシェアして住みやすいまちに。

【結論】

- ・ 若者を巻き込んだ市民コミュニティの確立。

テーブル番号	4
ディスカッションテーマ	みどり・景観（第5章）

主な意見

（※大柱・中柱・小柱に分けずにディスカッションした。）

～ 市民との協働でみどり豊かな朝霞へ！ ～

【大柱：3みどり・景観 中柱：（1）まちの骨格となる緑づくり 小柱：①武蔵野の原風景を継承する緑の保全】

- ・自然と人がお互いに豊かに。
- ・多様性保全に努め、除草剤の散布をやめる。
- ・基地跡地の見学会（春・夏・秋）。

【大柱：3みどり・景観 中柱：（1）まちの骨格となる緑づくり 小柱：③計画的な緑づくり】

- ・市内の緑地について保全計画を立て残す。
- ・基地跡地を全面市民が利用できるように！！
- ・基地跡地整備計画の早期見直し。
- ・環境森林税の利用検討（保全緑地）。
- ・高齢者が楽しめる緑を減らさない。
- ・基地跡地の早期市民利用、知恵を出して実現を。園路の利用など。
- ・快適な朝霞の森にするために草刈り予算の増額を。
- ・若い人の参加をどう図るか。緑を守るボランティア〈進む高齢化対策〉。

【大柱：3みどり・景観 中柱：（2）うるおいのある生活環境づくり 小柱：①水と緑のネットワークの充実】

- ・水路30by30の観点で保全。
- ・30by30多様性基本法の観点で保全。あさか調整池。

【大柱：3みどり・景観 中柱：（2）うるおいのある生活環境づくり 小柱：②水と緑のうるおいのある市街地の形成】

- ・水かん養地流域治水でみどりと自然を残し、治水にも貢献。
- ・市民の力を発揮できる。行政に生かす。

- ・ 広沢の池の管理方法や将来のあり方について計画する。
- ・ 船着場施設等、志木市のいろは親水公園と船で行き来できるように。

【大柱：3みどり・景観 中柱：(2) うるおいのある生活環境づくり 小柱：③みどり空間の魅力向上】

- ・ シンボルロードの散策路。
- ・ シンボルロードの運営管理を市民との協働管理に。早期実現を。
- ・ 絶滅危惧の生態系はないか？
- ・ ベンチを1m後ろに下げる。

【大柱：3みどり・景観 中柱：(3) まちの魅力を生み出す景観づくり 小柱：①まちのうるおいとなる景観形成】

- ・ 電柱の地中化の計画はあるか？

【大柱：3みどり・景観 中柱：(3) まちの魅力を生み出す景観づくり 小柱：②地域資源を生かした景観形成】

- ・ 駅前通りの一方通行化？

テーブル番号	5
ディスカッションテーマ	道路交通（第5章）

主な意見

【大柱：2 道路交通 中柱：（1）やさしさに配慮した道づくり 小柱：①幹線道路網の整備】

- ・道路に緑が多いところが良い。
- ・市内循環バスが通る坂道の勾配がきつい。
- ・未来：全市的な道路整備の計画。消防車等が入れる大きな道路。

【大柱：2 道路交通 中柱：（1）やさしさに配慮した道づくり 小柱：②バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した道路空間の整備】

- ・通学路が狭い。道路に電柱が多い。
- ・ひび割れた道路が多い（内間木地区）。道路に凸凹がありやさしくない。穴の空いている道路がある。
- ・未来：無電柱化を進める。駅周辺が広く歩きやすい道。内間木地区の水害対策。

【大柱：2 道路交通 中柱：（1）やさしさに配慮した道づくり 小柱：③環境・景観に配慮した歩行者空間の整備】

- ・植樹帯など緑が多いが手入れが行き届いていない場所がある。
- ・市内全体で緑が多く、特に基地跡地周辺は夏でも涼しい。
- ・未来：緑（樹木）や花が多い道路。

【大柱：2 道路交通 中柱：（2）良好な交通環境づくり 小柱：①安全・快適な交通環境の整備】

- ・道路の安全性を確保してほしい。
- ・路面表示の注意印刷が良い。
- ・未来：渋滞をなくす通信網（デジタル技術活用）。

【大柱：2 道路交通 中柱：（2）良好な交通環境づくり 小柱：②公共交通網などの充実・整備】

- ・バスの本数が多いところが良い。
- ・未来：移動困難者の視点を取り入れた公共交通の取組。高齢者等が自由に外出できる交通環境。

【大柱：2 道路交通 中柱：（2）良好な交通環境づくり 小柱：③その他交通施設などの充実・整備】

- ・高齢者、移動困難者の交通に問題がある（バス・タクシー）。

【結論】

- ・緑が多く、人にやさしい道路・交通。

テーブル番号	6
ディスカッションテーマ	上下水道整備（第5章）

主な意見

【大柱：5上下水道整備 中柱：（1）上水道の整備・充実 小柱：①基幹管路の耐震化・老朽施設の更新】

【大柱：5上下水道整備 中柱：（2）公共下水道の整備 小柱：①下水道施設更新事業の推進】

○現状

<良い点>

- ・市民の負担の割に更新事業が進んでいる。

<課題>

- ・上下水道更新時の工事が大変となる。
- ・コンパクトシティ化に向けてのインフラ整備計画の策定が必要となる。
- ・上下水道の老朽化、耐震化の計画は大丈夫か。

○未来

- ・世界一の耐震化率を達成している。
- ・上下水道停電への万全な対策ができている。
- ・耐震化、老朽化への万全な対策ができている。
- ・まちづくりと連携して下水道網が構築されている。

【大柱：5上下水道整備 中柱：（1）上水道の整備・充実 小柱：②水道事業の健全運営】

【大柱：5上下水道整備 中柱：（2）公共下水道の整備 小柱：③下水道事業の健全運営】

○現状

<良い点>

- ・現状、健全運営ができているように感じる。

<課題>

- ・将来を見据え、上下水道の料金を上げた方が良い。

○未来

- ・世界一安全、安心な上下水道の街となっている。
- ・職員が世界一モテる上下水道職員となっている。
- ・世界一健全な上下水道の財政状況となっている。

- ・モニタリングの充実した効率の良い維持管理ができています。

【大柱：5上下水道整備 中柱：(2) 公共下水道の整備 小柱：②雨水浸水対策の推進】

○現状

<課題>

- ・管を太くすれば良いと思うが、費用対効果はあるのか。
- ・設備の整備の費用対効果はどうか。

○未来

- ・甚大化する災害に備えて管の口径が大きくなっている（甚大化する災害に対応可能となっている）。
- ・緑地と連携した雨水浸透が実現している。

【結論】

○「当たり前」を「当たり前」に

上下水道における老朽管の更新、耐震化の推進、雨水対策の推進、健全運営は、乗り越えなければならない課題が多いが、市民からは実現できて「当たり前」のこととなっているため、これを「当たり前」のように提供できるよう整備、運営を進めていく必要がある。

2-1 教育部会の開催結果

- 1 日 時 令和7年2月1日（土）午後1時30分～午後3時00分
- 2 会 場 中央公民館・コミュニティセンター 展示ギャラリー
- 3 参加者 計32人（市民14人、職員18人）
- 4 グループディスカッション（テーブル数4）

No.	テーマ	テーブル番号
1	学校教育について	1
2	学校教育について	2
3	学校教育について	3
4	生涯学習について	4



2-2 意見概要

テーブル番号	1
ディスカッションテーマ	学校教育について（第3章）

主な意見

【大柱：1 学校教育 中柱：（2）確かな学力と自立する力の育成 小柱：①個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実】

- ・ 地域にある資産（例えば旧高橋家）を生かした教育を推進すべきではないか。
- ・ 学校教育を通じて未来に何を伝えるか、残すのか。
- ・ こどもの居場所が少ないように感じるので多様な居場所作りが必要ではないか。

【大柱：1 学校教育 中柱：（2）確かな学力と自立する力の育成 小柱：④教育DXの推進】

- ・ ICTが進むのは良いが対面も必要と考えるので、そのバランスが重要ではないか。

【大柱：1 学校教育 中柱：（3）多様なニーズに対応した教育の推進 小柱：②学校に行きづらい児童生徒への支援の推進】

- ・ 学校に行きづらいこどもの居場所作りが必要であるとともに親と子が共に成長する場所を提供するべきではないか。

【大柱：1 学校教育 中柱：（4）質の高い学校教育を推進するための環境の充実 小柱：①教職員の資質・能力の向上】

- ・ 教員のなり手不足の状況により教員の労働時間が増加している。
- ・ 教員が疲れていて教員のメンタルが心配であり、助けてあげたいと思っている。
- ・ 授業内容を共有するなど、教員の横のつながりが必要ではないか。

【大柱：1 学校教育 中柱：（4）質の高い学校教育を推進するための環境の充実 小柱：⑥安全・安心で持続可能な学校給食の提供】

- ・ 物価高騰により学校給食が心配である。

【大柱：1 学校教育 中柱：（6）学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上 小柱：④学校・家庭・地域の教育力向上のための支援】

- ・ 小学校と学童とのつながりが希薄に感じる。
- ・ 自分が住む地域の自治会を知らないこどもがいる（東南部町内会を知らない）。

テーブル番号	2
ディスカッションテーマ	学校教育について（第3章）

主な意見

【大柱：1 学校教育 中柱：（4）質の高い学校教育を推進するための環境の充実 小柱：

①教職員の資質・能力の向上】

- ・教員による事件・不祥事が報道されると教員は大変だとは思いますが、教職員に対して不安は拭えない。日本版DBSが機能するように期待している。
- ・こどもが1人にならない工夫をすべき。

【大柱：1 学校教育 中柱：（4）質の高い学校教育を推進するための環境の充実 小柱：

②学校の組織・運営の改善】

- ・児童・生徒数、クラス数も多く、先生の数が足りていない。毎年4月当初は教員が足りているようだが、だんだん減っていく。大人数を一人だけで受け持っている。教員に余裕がなさそう。
- ・従来なかったような様々な仕事が増えて、それに教員が追われている。負担への工夫をするべきだと思う。教員が、雑務に追われているように見える。

【大柱：1 学校教育 中柱：（4）質の高い学校教育を推進するための環境の充実 小柱：

⑤適切な教育環境の設定】

- ・学校予算が大幅に減額されたと聞いた。教育の質は維持できるのか。

【大柱：1 学校教育 中柱：（4）質の高い学校教育を推進するための環境の充実 小柱：

⑥安全・安心で持続可能な学校給食の提供】

- ・学校給食が自校式の学校は、こどもたちが考えたメニューが出たり、朝霞の野菜を使用したりと食育が進んでいる。今後、自校式学校給食は進むのか。
- ・自校式学校給食は、アレルギー対応が手厚い。アレルギーのこどもがいる家庭では、自校式の校区に引っ越しを考えるなど、シビアな状況が発生している。より一層のアレルギー対応を望むと同時に自校式学校給食を増やしてほしい。
- ・給食の小皿が減った。

【大柱：1 学校教育 中柱：（5）学校施設の適切な維持・管理 小柱：①学校施設・設備の適切な維持管理】

- ・学校施設が老朽化している。朝霞市は地方交付税が不交付となる。また、市長が変わ

る。教育施策などに影響はあるのか。

【大柱：1 学校教育 中柱：(6) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上 小柱：③貴重な地域人材の教育活動への積極的参画】

- ・学校に関心がある人、教員を助けたいという思いを持っている人は地域にいる。
- ・学校では、様々な取り組みを行っているが、その事への検証が足りていないように思える。ただやっているだけに見える。掛け声はあるが、実践されていない。

テーブル番号	3
ディスカッションテーマ	学校教育（第3章）

主な意見

【大柱：1 学校教育 中柱：（1）持続可能な社会の創り手の育成 小柱：⑤健康の保持・増進】

- ・学校まで遠いため通学時間がかかり、また夏の暑さで健康を阻害しないか心配。
- ・行政境の地域では隣の市の学校への通学により通学の利便性の向上が図れないか。
- ・登下校時の負担軽減を目的に教科書等を学校に置いておくことはできないか。

【大柱：1 学校教育 中柱：（2）確かな学力と自立する力の育成 小柱：④教育DXの推進】

- ・タブレット端末が1人1台配布されたが、毎日持ち運びはこどもに負担ではないか。
- ・この端末を使って酷暑の時はリモート学習ができないか。教員の負担軽減に寄与。

【大柱：1 学校教育 中柱：（3）多様なニーズに対応した教育の推進 小柱：②学校に行きづらい児童生徒への支援の推進】

- ・以前は学校に行かせる対策を立てていたが、今後はタブレット端末での学習支援を。
- ・スペシャルサポートルームが六小に新設されるため、多様な学び方を。
- ・学校だけでなく地域で解決できるものは地域にも協力してもらうことが望ましい。

【大柱：1 学校教育 中柱：（6）学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上 小柱：①地域と一体となったコミュニティ・スクールの推進】

- ・コミュニティ・スクールの課題として地域と学校との連携が不足していないか。
- ・学校から地域にもっと呼びかけをすることが必要ではないか。
- ・教育委員会からも地域へもっと学校との連携について情報発信が必要では。
- ・学校から保護者へは情報が発信されるが、更に地域にも対象を広げてはどうか。
- ・学校からの情報が無いから地域とのつながりも持てないのではないか。

参加者からの個人的意見

- ・懇談会の冒頭で職員は立っていたが、各テーブルに最初から着席すればどうか。同じグループで一緒に意見交換するのだから。

テーブル番号	4
ディスカッションテーマ	生涯学習について（第3章）

主な意見

【大柱：2生涯学習 中柱：（1）生涯にわたる学びの推進 小柱：②学習情報の提供と学習機会の充実】

- ・市民の自立性を高める教育の場が必要である。
- ・こどもが関心を持つためには、親がもう少し勉強する必要がある。
- ・市や国の未来のための議論ができる場があると良い。
- ・気持ちを高める教育が必要。
- ・好きなことだけを学ぶことから、必要なことを考え学び合うことができる議論の場を設けていけると良い。

【大柱：2生涯学習 中柱：（1）生涯にわたる学びの推進 小柱：③豊かな地域文化活動に向けた団体、学習グループの支援とリーダーの育成・活用】

- ・各々が自分の得意分野を教えることができる場があると良い。
- ・元気な高齢者が増えているので、パソコンスキル等の仕事に繋がるような学びの場や新たな出会いの場があると良い。

【大柱：2生涯学習 中柱：（1）生涯にわたる学びの推進 小柱：④放課後のこどもの居場所づくり】

- ・こどもの居場所づくりは、学校の役割ではないのか。
- ・こどもの居場所づくりには、学校も関わっているのか。

【大柱：2生涯学習 中柱：（2）学びを支える環境の充実 小柱：②利用しやすい施設の提供】

- ・公民館等の施設の密度は、他市と比べて高いのか。
- ・クラウドファンディングを活用した図書館資料の充実等も良いのではないのか。

【大柱：3スポーツ・レクリエーション 中柱：（1）スポーツ・レクリエーション活動の推進 小柱：①推進体制の充実】

- ・高齢者のスポーツ活動を支えるフォロー体制などはできているのか。

3-1 市民環境部会の開催結果

- 1 日 時 令和7年2月1日（土）午後3時30分～午後5時00分
- 2 会 場 中央公民館・コミュニティセンター 展示ギャラリー
- 3 参加者 計25人（市民12人、職員13人）
- 4 グループディスカッション（テーブル数3）

No.	テーマ	テーブル番号
1	生活環境（環境・ごみ処理）	1
2	産業振興	2
3	コミュニティ （市民生活・コミュニティ・市民活動）	3



3-2 意見概要

テーブル番号	1
ディスカッションテーマ	生活環境（環境・ごみ）（第4章）

主な意見

【大柱：1 環境 中柱：（1）住み良い環境づくりの推進 小柱：①自然環境の保全と再生】

- ・市が積極的に緑化を推進し、緑に恵まれた朝霞を維持してもらいたい。植樹の推進、使われていない畑を市民農園として活用する等。CO₂削減にも繋がる。

【大柱：1 環境 中柱：（1）住み良い環境づくりの推進 小柱：②生活環境の保全】

- ・市では、川や道路などの清掃月間はあるのか。どこの市も経済的に厳しいので、お金を使わず、市民の力と頭で自分たちの市を良くしていくコーディネートを市にやってほしい。
- ・駅前のごみが少ないのは素晴らしいと思う。

【大柱：1 環境 中柱：（1）住み良い環境づくりの推進 小柱：③動植物の適切な保護と管理】

- ・鳥が少なくなっているように感じる。自然環境の崩壊に繋がってしまう。自然と調和すべき。

【大柱：1 環境 中柱：（2）低炭素・循環型社会の推進 小柱：②温室効果ガスの抑制の推進】

- ・温暖化対策実行計画を作してほしい。

【大柱：1 環境 中柱：（3）環境教育・環境学習の推進 小柱：①環境意識の向上】

- ・「SDGs 未来都市朝霞」として、SDGs を市民へ周知してほしい。
- ・食品ロス削減の国民運動推進を求める意見書が出されたが、朝霞市でも食品ロスについてPRすべき。
- ・こどもたちへの環境教育は大切だと思う。小学生へ温暖化の講座を行ったが、有意義な時間だった。

【大柱：1 環境 中柱：（3）環境教育・環境学習の推進 小柱：②環境美化の推進】

- ・コロナ禍にごみ箱が撤去されたが、駅周辺にまたごみ箱を設置できないか。

- ・ごみは減ったが、煙草の吸い殻のポイ捨ては増えているように感じる。対策が必要ではないか。
- ・小学生の環境美化ポスターについて、街中であまり見掛けない。ごみ捨てに関する啓発になるので、もっと掲示すべき。

【大柱：2ごみ処理 中柱：(1) ごみの減量・リサイクルの推進 小柱：①排出抑制の推進】

- ・ごみを減らす意識を持ってもらいたい。名刺1枚は1g。ごみを1g減らす気持ちで。三角コーナーの水切りを行えばごみの量も減り、CO₂も出にくい。
- ・資源になるものを分別しないで集める取り組みを企業が行う予定。良い成果が出たら、市でも展開していけたら良い。
- ・一人あたりのごみの量が平均を下回ったのは、どの施策の効果なのか。

【大柱：2ごみ処理 中柱：(1) ごみの減量・リサイクルの推進 小柱：②資源化の推進】

- ・リサイクルショップをリサイクルについての情報発信基地としてリニューアルして活用してほしい。長年同じ展示なので、1回見れば十分になってしまう。
- ・リサイクル補助金の削減はいかかなものか。補助金は様々な活動費に充てているので地域コミュニティ活性化につながっている。
- ・ごみの分別について外国人への周知が必要。分別への理解を深めるため、「なぜ」分別が必要なのか説明すべき。

【大柱：2ごみ処理 中柱：(2) ごみ処理体制の充実 小柱：②計画的な施設整備の推進】

- ・和光市とのごみ処理施設について。ごみは自分たちの所で処理するのが基本だが、最終処分場はどうなっているか。

テーブル番号	2
ディスカッションテーマ	産業振興（第5章）

主な意見

【大柱：6 産業活性化 中柱：（1）魅力ある商業機能の形成 小柱：①総合的な商店街活性化の促進、②商店街の機能向上、③市内事業者の魅力の発信、④市民ニーズにマッチした商業機能の充実】

- ・商店街が古臭く、新規のお店が少ない印象がある。
- ・市内の商店街がどこにあるか分からない。
- ・新規出店者への斡旋が必要。
- ・市内のイベント開催等で多くの人があることががあるので、その人たちに商店街をもっとPRしてはどうか。

【大柱：6 産業活性化 中柱：（2）中小企業の経営基盤の強化 小柱：①経営への支援、②人材育成と組織強化の支援、③情報収集と相談機能の充実】

- ・出店を推進するための市などの支援事業をもっとPRしてはどうか。

【大柱：6 産業活性化 中柱：（3）企業誘致の推進 小柱：①産業利用に向けた土地利用の推進】

- ・都心に近く、朝霞市が地理的や公共交通の面で利便性の高い場所であることをもっとPRしてはどうか。

【大柱：6 産業活性化 中柱：（4）都市農業の振興 小柱：①都市農業の振興、②農地の保全】

- ・農産物をブランド化してはどうか。

【大柱：7 産業の育成と支援 中柱：（2）起業・創業の支援 小柱：①支援体制の充実、②新たな産業の創出】

- ・経営者、起業家に対する研修が不足している。
- ・近隣市にはあるが、インキュベーション施設がない。
- ・有名起業家の講演会を開催してはどうか。

【大柱：8 勤労者支援 中柱：（2）雇用の促進 小柱：①雇用の促進、②就職希望者に対する支援の充実】

- ・ 価格転嫁に結びつかず、売上に反映できていない。
- ・ 起業後の支援が必要。

テーブル番号	3
ディスカッションテーマ	コミュニティ（第4章）

主な意見

【大柱：4 コミュニティ 中柱：（1）コミュニティ活動の推進 小柱：①コミュニティづくりの促進、②コミュニティ活動の活性化】

- ・自治会町内会のメリットが感じられない（伝わりにくい）。
- ・地域の人たちとコミュニケーションが取れない。
- ・子どもたちに挨拶しにくい環境。
- ・自治会に無関心、新しい人が入らない。
- ・自治会加入者も個人情報をもとに名簿が作れない。
- ・彩夏祭に外国人も巻き込める仕組み。
- ・プレーパークを増やしてはどうか。
- ・地域の様々な団体（社協、自治会、地域包括支援センター）が話し合う場を設ける。
- ・個人化が進んでいる。
- ・挨拶ができるまちにしたい。
- ・元々つながりのあるところを活用する。
- ・災害時の協力体制が危ぶまれる。

【大柱：5 市民活動 中柱：（2）市民活動環境の充実 小柱：①市民活動拠点の充実】

- ・市民活動の拠点が無い。
- ・広報あさかにて活動を告知。

4-1 健康福祉部会の開催結果

- 1 日 時 令和7年2月2日（日）午前10時30分～正午
- 2 会 場 中央公民館・コミュニティセンター 第1、第2集会室
- 3 参加者 計35人（市民14人、職員21人）
- 4 グループディスカッション（テーブル数3）

No.	テーマ	テーブル番号
1	福祉・こども・健康	1
2	福祉・こども・健康	2
3	福祉・こども・健康	3



4-2 意見概要

テーブル番号	1
ディスカッションテーマ	福祉・こども・健康（第2章）

主な意見

（※中柱、小柱まで細分化せず、大柱をもとに意見交換を行った。）

【大柱：1 地域共生社会の推進】

- ・社協を中心に民生委員や地域活動する者などが一体となって地域共生社会を推進していくことが望ましい。
- ・こどもや高齢者の居場所を確保するほか市民活動の拠点となる場所の整備、プレーパークの活動を推進していく。また、これが異世代交流の良い機会となる。
- ・福祉と教育が連携し、コミュニティ・スクール等の充実を図っていく。
- ・広報あさかの市民活動のスペース拡充とともに、市民活動を市の掲示板で周知していただきたい。

【大柱：2 こども・若者応援、子育て支援】

- ・子育て世代の親などへの支援策として、一時保育の充実や相談者に寄り添いながら具体的な解決策を提示してくれる相談先を望む。
- ・保育士人材確保のため、保育士ほか福祉職のみなさんの処遇改善を望む。
- ・こどもたちの居場所の多様化に対応するためのコーディネーターの育成と人材を確保する。
- ・子ども・子育て支援事業計画の振り返りを行い、課題解決に向けた検証をお願いしたい。
- ・小学6年生まで親が働いていなくても受け入れられる放課後児童クラブの整備を望む。
- ・市内に整備される児童相談所と密に連携していただきたい。

【大柱：3 保健・医療】

- ・成年後見支援事業、家計相談支援事業などの重層型支援が推進されることを望む。
- ・減額された障害者手当の復活を望む。
- ・国民健康保険料の値下げを望む。

テーブル番号	2
ディスカッションテーマ	福祉・こども・健康（第2章）

主な意見

（※中柱、小柱まで細分化せず、大柱をもとに意見交換を行った。）

【大柱：1 地域共生社会の推進】

- ・ 成年後見制度の推進。
- ・ 朝霞は高齢化が他市に比べて比較的緩やかなため、今のうちに手を打つべき。
- ・ 老老支援の確立（元気な高齢者が少し弱い高齢者を支える）。
- ・ 地域包括支援センターの区割りの見直し。

【大柱：2 こども・若者応援、子育て支援】

- ・ 新たな制度ができる中で、職員不足や職員のオーバーワークになっていないか。
- ・ 地域コミュニティ醸成のため、活発な保育園や幼稚園の園児、小学生と高齢者との交流。
- ・ 他分野との連携（学校と学童、健康福祉部会と教育部会など）。

【大柱：3 保健・医療】

- ・ 職員不足。
- ・ 黒目川や朝霞の森といった自然を生かした健康づくりの創出（ウォーキングキャンペーンや坂めぐりなど）。

【その他】

- ・ 各分野を越えた連携が必要。分野ごとで重なっている部分もあるので、そこを明確にして議論を行ったほうが良い。

テーブル番号	3
ディスカッションテーマ	福祉・こども・健康（第2章）

主な意見

（※中柱、小柱まで細分化せず、大柱をもとに意見交換を行った。）

【大柱：1 地域共生社会の推進】

- ・困っていることを安心して話せる場。
- ・生活保護前の生活の手助けが必要。
- ・市のことが色々と分かる場（特に転入者）。
- ・体験を生かせる場。
- ・高齢者とこどもとの異年齢交流が必要で、空き家を活用してほしい。
- ・こどもの支援を高齢者がサポートすることにより高齢者の生きがいが高まる。
- ・働く意欲のある高齢者がその技術を習得できる場。
- ・調査を行う（高齢者の孤立・障害者の未支援・虐待・引きこもり等の把握）。

【大柱：2 こども・若者応援、子育て支援】

- ・こども1人1人をたくさん目で見える。
- ・発達障害は少し情報を知ることによって理解を得られた方が過ごしやすい。
- ・こどもから大人まで、市でどんなことをしているのか知ってもらう。

【大柱：3 保健・医療】

- ・定期健診で認知症のチェックをしてほしい。
- ・初期に認知症と分かることで治療等の対応ができる。

5-1 総務部会の開催結果

- 1 日 時 令和7年2月2日（日）午後1時30分～午後3時00分
- 2 会 場 中央公民館・コミュニティセンター 第1、第2集会室
- 3 参加者 計30人（市民14人、職員16人）
- 4 グループディスカッション（テーブル数4）

No.	テーマ	テーブル番号
1	行財政	A
2	公共施設	B
3	広報・広聴	C
4	デジタル	D



5-2 意見概要

テーブル番号	A
ディスカッションテーマ	行財政（第6章）

主な意見

【大柱：3行財政 中柱：（1）総合計画の推進 小柱：①計画的な施策の推進】

- ・イルミネーションが毎年充実していった嬉しい。できたらバレンタインデーまで続いてほしい。
- ・市民からの提案を積極的に募集してはどうか。
- ・市政に興味を持ってもらえていない。
- ・事業の実施機関等については、所管課において事業の振り返りや評価を行うとともに、市民アンケートなどを取り、市民意見や要望等を反映できるところは対応していく。

【大柱：3行財政 （1）中柱：総合計画の推進 小柱：②行政評価の推進】

- ・市民の意見を採用した実例があるのか分からない、市民に情報を発信しても良いのではないか。
- ・意見の反映状況を公表する。

【大柱：3行財政 中柱：（2）公平・適正な負担による財政基盤の強化 小柱：①計画的な財政運営】

- ・災害復旧費の予算も毎年確保しておいた方が良いのでは。
- ・わくわくどーむが老朽化していてよく故障するため困る。必要な修繕にはしっかり予算を確保してほしい。
- ・市債は、MAXまで後どの程度起債可能か、起債の有効な活用。
- ・施設利用の受益者負担をしっかりとしてほしい。施設利用者に対して、実際掛かっている経費の一部なりをしっかりと負担させた方が良い。

【大柱：3行財政 中柱：（2）公平・適正な負担による財政基盤の強化 小柱：②効果的な財政運営】

- ・多額の歳入を得るものが少ない。
- ・返礼品を充実してふるさと納税の入りを増やす。
- ・へべれけという人参焼酎など、朝霞の特産品がたくさんあれば、ふるさと納税の返礼品にもできるのでは。

- ・収入の確保、支出の削減。
- ・民間活力の活用、民でできることは民で。
- ・コンパクトシティ化への投資とコスト削減を図った方が良い。
- ・公共建築物の再配置や統廃合を進めた方が良い。
- ・公設保育園は多すぎないか。公設は減らした方が良いかも。
- ・事業の統廃合を進めた方が良い。
- ・非耐震建物の耐震化。
- ・市議を24人から20人に削減する。
- ・ふるさと納税の返礼品の充実。
- ・コスト削減、使命を終えた事業の削減。
- ・国や県、近隣市の状況等を常に把握し、事業や取組を見直す。他市と比べて補助額が高いものは他市レベル並みに落とすなど。
- ・財政的に市の持ち出しだけでは厳しいので、国の補助等が求められる。

【大柱：3行財政 中柱：(2) 公平・適正な負担による財政基盤の強化 小柱：③税収などの確保】

- ・長期的に見込める収入の確保。
- ・インキュベーションオフィス設置で法人を誘致。市内に住民票を移す条件としてはどうか。

【大柱：3行財政 中柱：(5) 機能的な組織づくりと人材育成の充実 小柱：①柔軟で機能的な組織運営】

- ・どのような機能的組織の具体策を実施しているのか、考えているのか、市民に伝わってこない。

〈小柱②：職員の能力開発と人材の確保にも含まれる〉

- ・職場環境の充実。
- ・スキルアップの研修の実施。
- ・市職員サポートとして高齢者をボランティアで活用する。
- ・どのような取組を行っているか発信する。

【大柱：3行財政 中柱：(5) 機能的な組織づくりと人材育成の充実 小柱：②職員の能力開発と人材の確保】

- ・市役所を建て替えれば、若い人達が応募してくるのではないか。
- ・市職員に市内在住手当を月3万円支給する。
- ・若い職員に早い段階で辞める人がいる。
- ・人材育成の具体策としてどのようなことを実施しているのか、考えているのか、市民

には伝わってこない。

- ・市役所役職の男女割合は改善の方向に向かっているのか。
- ・人口当たりの市職員数は、他の市と比較してどうなのか。必要なら増やせば良いし、必要以上の数があるなら減らすことも検討しても良いのでは。

〈小柱①：柔軟で機能的な組織運営にも含まれる〉

- ・職場環境の充実。
- ・スキルアップの研修の実施。
- ・市職員サポートとして高齢者をボランティアで活用する。
- ・どのような取組を行っているか発信する。

●他の柱内容

【大柱：１人権・多様性の尊重 中柱：（１）人権教育・啓発活動・問題解決に向けた支援 小柱：③人権啓発活動の推進・推進体制の充実】

- ・人権について、職員だけではなく、市民にも幅広く発信した方が良い。
- ・人権に関する研修への参加、市民も職員も。
- ・市を横断した人権の取組、市の取組の市民への発信。

【大柱：１人権・多様性の尊重 中柱：（３）多文化共生 小柱：①外国人市民が暮らしやすいまちづくり】

- ・外国人が暮らしやすいまちづくりについて関連部署で検討、共有し、市民に発信する。
- ・サポートをボランティアで募集する。

【大柱：１人権・多様性の尊重 中柱：（３）多文化共生 小柱：②多文化共生への理解の推進】

- ・多文化共生について、具体的にどんなことを実行しているのか、市民には分かりづらく、伝わっていない。

●その他

- ・議員の考え方の違いが、市民に違いが伝わっていないのではないかな。
- ・選挙候補者討論会を開催し、ネットで公開する。

テーブル番号	B
ディスカッションテーマ	公共施設（第6章）

主な意見

【大柱：3行財政 中柱：（3）公共施設の効果的・効率的な管理・運営 小柱：①公共施設の計画的な管理・運営】

- ・県産木材を使って施設を長く使用していく。

【大柱：3行財政 中柱：（3）公共施設の効果的・効率的な管理・運営 小柱：②効果的・効率的な公共施設の維持管理】

- ・施設の稼働率を上げる。
- ・施設の利用状況を公開する。
- ・こどもたちのニーズを把握する。
- ・こどものため、将来の世代のためになるような施設にしていく。
- ・子育て世代の方たちのニーズを把握する。
- ・トップダウンではなくボトムアップで意見を吸い上げ反映していく。
- ・建物の維持管理に経費をかけるのではなく大胆な廃止統合を検討する。
- ・公共施設の大胆な集約化を図り維持管理費用の縮減を図る。
- ・駅周辺に駐車場の設置を行う。
- ・支所・出張所機能の強化を図り本庁舎に行かないとできないことを減らす。
- ・市内全域に公共施設を配置する。
- ・公共施設への交通アクセスの向上を図る。
- ・公共施設に駐車場を確保する。
- ・施設使用料や駐車場の有料化で収益を上げる。
- ・市役所の食堂を地下から上階に設置して市民が集えるようにする。
- ・太陽光発電設備の設置を進めていく。

テーブル番号	C
ディスカッションテーマ	広報・広聴（第6章）

主な意見

【大柱：2市民参画・協働 中柱：（2）情報提供の充実と市民ニーズの把握 小柱：① まちづくりに関する情報の提供】

【大柱：2市民参画・協働 中柱：（2）情報提供の充実と市民ニーズの把握 小柱：② 市民ニーズの把握】

【知名度】

〈課題〉

- ・朝霞の知名度が低い。
- ・ラジオ（ナナコライブラリーFM）の聴き方が分からない。
- ・朝霞の良いところを分かりやすくアピールする。

〈解決策・良い点〉

- ・東上線で池袋まで15分、永田町、市ヶ谷にも（地下鉄で）一本で行ける。
- ・高速道路へのアクセス良い。（外環和光IC・和光北IC、関越所沢IC）
- ・都内に近いのに家賃が安めである。
- ・大栄翔関のまわし（ぽぽたん）を朝霞市から寄贈する。
- ・東洋大学箱根駅伝のユニホームにロゴを入れる。（青山学院大学は合宿地の市ロゴが胸にあった。）
- ・東洋大生とコラボしてSNSで発信する。
- ・大きな公園がある。子育てしやすい。
- ・子育てしやすかった。
- ・朝霞の好きなところをこどもに聞いてみたらどうか。
- ・イベントであさかPR大作戦を開く。
- ・市内の映画・ドラマのロケ地をPRする。（ドラマ・アニメの聖地巡礼のように）
- ・映画「平場の月」楽しみです。

【広報】

〈課題〉

- ・こども達に届けたい。（分かりやすく。）
- ・全年齢層に読みやすくしてほしい。（高齢者から字が小さいと聞いたことがある。）
- ・広報する相手・顧客は誰ですか。

〈解決策・良い点〉

- ・広報の内容が市外の人も対象であれば、北朝霞駅広場に電光掲示する。

【情報発信】

〈課題〉

- ・彩夏祭の詳細情報がもっと欲しい。(実況のような感じで、リアルタイムで盛り上がっているところをPRする。)
- ・今日の懇談会のような良い取組への参加人数を多くしたい。
- ・市掲示板を(民地などにも)増設してほしい。
- ・朝霞駅前のサイネージがもっと活用できないか。(運用を中止した旨、説明済)
- ・Y o u T u b e をもっと活用した方が良い。(Y o u T u b e はテレビで見ることができる。高齢者も見ている。)
- ・必要な情報になるべく早くたどり着けるようにしてほしい。(子育てサイトなど、HPをスマホで簡単に)

〈解決策・良い点〉

- ・スーパーマーケット等、人が集まる場所にも市掲示板を設置する。
- ・掲示板がきれいになった。

テーブル番号	D
ディスカッションテーマ	デジタル（第6章）

主な意見

【大柱：3行財政 中柱：（4）デジタル化の推進】

（目的≠手段）

- ・デジタル化は「目的」ではなく「手段」である。「目的」を明確にした方が良い。
- ・改善していくところについてディスカッションしてほしい。

（その他）

- ・「理想像」を明確にした方が良い。
- ・デジタル化には部分最適ではなく全体最適となるよう取り組んでほしい。
- ・基本計画（素案）に中柱「デジタル化の推進」が入ったことは良い。
- ・組織を横断してデジタルを推進してほしい。

【大柱：3行財政 中柱：（4）デジタル化の推進 小柱：①デジタル技術の適正かつ効果的な活用】

（コスト削減）

- ・システム面でも「最小の投資で最大の効果」を意識し施策に取り組んでほしい。
- ・IT資産のコスト削減のため、OSS（オープンソースソフトウェア）を活用するのが良いのではないかな。

（システムの共通化）

- ・市外に引っ越ししても、してきても、同じシステムで、効率よく手続を済ませられると良い。
- ・他の自治体とシステムが共通化されサービスが見える化されると良い。

（災害対応）

- ・平常時から大規模災害時、停電時のことも想定した対策に取り組んでほしい。

（その他）

- ・マイナンバーを使っても時間のかかる手続があり、効率化されていない。戸籍関連の手続で何日もかかった。
- ・FAXを廃止してほしい。

【大柱：3行財政 中柱：（4）デジタル化の推進 小柱：②市民に寄り添うデジタル化】

（市民ニーズ）

- ・どの手続がオンラインされたか分からない。HPを含め周知に改善の余地がある。

- ・市民のニーズにどのように対応しているのか（分からない）？

（サポート）

- ・デジタルが苦手な人への対応、デジタル手続きできない人へのフォロー体制が求められる。
- ・高齢者へのサポートをしてほしい。

（マナー）

- ・デジタルによる告知、広報は、インパクト狙いで倫理観に欠けるものがある。
- ・市民に適切なSNSの使い方、マナーを広めてほしい。
- ・いじめ、フェイクニュースなどの規制が必要ではないか。

（その他）

- ・市民活動の告知に使えるWeb掲示板が欲しい。

3. 資料

募集チラシ

第6次朝霞市総合計画策定に向けた 分野別市民懇談会



日/場所	回	時間	テーマ
令和7年 2月1日(土) 中央公民館・ コミュニティ センター 展示ギャラリー	第1回	午前10時30分 ～正午	都市建設分野 (まちづくり、道路交通、みどり、住宅、上下水道、防災・ 防犯)
	第2回	午後1時30分 ～午後3時	教育分野 (生きる力を育む朝霞の教育～学校教育と生涯学習～)
	第3回	午後3時30分 ～午後5時	市民環境分野 (地域コミュニティ、商工業、農業、環境、ごみ)
令和7年 2月2日(日) 中央公民館・ コミュニティ センター 第1、第2 集会室	第4回	午前10時30分 ～正午	健康福祉分野 (地域福祉、高齢者、障害者、こども・若者、社会保障、保 健・医療)
	第5回	午後1時30分 ～午後3時	総務分野 (行財政、公共施設、広報・広聴、デジタル)

※防災・防犯は都市建設分野に移動しました。

現在、朝霞市では令和8年度からの10年間を計画期間とする「第6次朝霞市総合計画」の策定を進めています。現在検討を進めている前期基本計画(素案)について、皆様のご意見を伺い、計画に生かしていくため、「分野別市民懇談会」を開催します。

各回のテーマについて、市の職員が内容を説明し、参加者の皆様と職員で意見交換を行います。

ぜひお気軽にご参加ください。

※いずれか1回だけでも参加できます
 ※手話通訳者を配置しています
 ※お子さまを連れてのご参加も可能です



詳細はこちら



どなたでも参加可能

事前申込不要

参加費無料

定員各回60名

問い合わせ
 朝霞市役所 政策企画課 ☎048-463-3089 ✉seisakukikaku@city.asaka.lg.jp

第6次朝霞市総合計画 前期基本計画（素案） 施策体系 【R7.1.28時点】

章	政策分野	大柱	中柱	主な小柱
1	災害対策・防犯	災害対策・防犯	(1) 災害対策の推進	① 総合的な防災体制の強化 ② 防災施設などの整備 ③ 災害（地震・火災・水害）に強いまちづくり ④ 避難場所・避難道路の確保
			(2) 地域防災力の強化	① 防災意識の高揚 ② 自主防災活動の支援 ③ 地域防災の連携
			(3) 消防体制の充実	① 消防との連携 ② 消防団の充実
			(4) 防犯のまちづくりの推進	① 防犯活動の充実 ② 防犯環境の整備
2	福祉・子ども・健康	地域共生社会の推進	(1) 地域共生社会の構築	① 地域共生社会に向けた支援体制の構築 ② 地域包括支援センターの機能強化 ③ 地域福祉活動への支援 ④ 地域福祉人材の発掘及び育成支援
			(2) 誰もが互いに尊重し合い、地域でつながる社会の実現	① 相互理解の推進 ② 権利擁護と尊厳の確保 ③ 社会参加とつながりづくりの支援
			(3) 誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実	① 相談支援体制の充実（高齢・障害・困窮他） ② 高齢者福祉の充実 ③ 障害者福祉の充実 ④ 生活困窮者等への支援の充実 ⑤ 自立に向けた生活・就労の支援
			(4) 誰もが安心して生活ができる支援の充実	① 地域での見守り体制の充実 ② 暮らしやすい住まいへの支援
		2 こども・若者 応援、子育て支援	(1) こども・若者が健やかに育つための支援	① こども・若者の人権の尊重 ② 多様な困難を抱えるこども・若者への支援 ③ こども・若者の意見表明・社会参画の推進
			(2) こども・若者が夢を思い描くための支援	① 青少年育成事業の推進と自主的活動の促進 ② こどもの体験活動の促進 ③ こども・若者の居場所づくりの推進
			(3) 子育て家庭を支えるための環境整備	① ライフステージを通じた切れ目のない子育て支援の充実 ② 様々な困難を抱える子育て家庭への支援 ③ 子育てがしやすいまちづくりへの支援
			(4) 幼児期等の教育と保育の充実	① 質の高い教育・保育の充実 ② ライフスタイルに応じた子育て支援の充実
		3 保健・医療	(1) 健康づくりの支援	① 健康づくり活動の促進 ② 保健事業の充実 ③ 歯科保健の充実 ④ 精神保健の充実 ⑤ 健康増進センターの活用
			(2) 健康危機管理・地域医療の充実	① 健康危機管理の充実 ② 予防接種の充実 ③ 地域医療体制の充実
			(3) 保険事業等の適正な運営	① 国民健康保険制度の円滑な運営 ② 後期高齢者医療制度の運営支援 ③ 国民年金制度の推進 ④ 介護保険制度の適切な運営

章	政策分野	大柱	中柱	主な小柱
3	教育・文化	1 学校教育	(1) 持続可能な社会の創り手の育成	① 豊かな心を育む教育の推進 ② いじめ・不登校対策の推進 ③ こどもの意見反映を推進するとともに人権を尊重した教育の充実 ④ 体力の向上と学校体育活動の推進 ⑤ 健康の保持・増進
			(2) 確かな学力と自立する力の育成	① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 ② キャリア教育と職業教育の推進 ③ 伝統と文化を尊重し国際性を育む教育の推進 ④ 教育DXの推進 ⑤ 特別支援教育の推進
			(3) 多様なニーズに対応した教育の推進	① 共生社会を目指した支援・指導の充実 ② 学校に行きづらい児童生徒への支援の推進 ③ 一人一人の状況に応じた支援
			(4) 質の高い学校教育を推進するための環境の充実	① 教職員の資質・能力の向上 ② 学校の組織・運営の改善 ③ こどもの安全・安心の確保 ④ 小中一貫教育の推進 ⑤ 適切な教育環境の設定 ⑥ 安全・安心で持続可能な学校給食の提供
			(5) 学校施設の適切な維持・管理	① 学校施設・設備の適切な維持管理 ② 長寿命化を見据えた学校施設の改修等の実施 ③ 目標使用年数を迎える学校施設の改築の検討・実施 ④ 教育課題に対する施設面での解決策の検討
			(6) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上	① 地域と一体となったコミュニティ・スクールの推進 ② 生涯スポーツ・文化活動を支える地域クラブ活動の体制整備 ③ 貴重な地域人材の教育活動への積極的参画 ④ 学校・家庭・地域の教育力向上のための支援
		2 生涯学習	(1) 生涯にわたる学びの推進	① 生涯学習推進体制の充実 ② 学習情報の提供と学習機会の充実 ③ 豊かな地域文化活動に向けた団体、学習グループの支援とリーダーの育成・活用 ④ 放課後のこどもの居場所づくり
			(2) 学びを支える環境の充実	① 学習活動の支援・充実 ② 利用しやすい施設の提供
		3 スポーツ・レクリエーション	(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進	① 推進体制の充実 ② 活動情報の提供の充実 ③ スポーツ事業の充実 ④ 豊かな地域スポーツ活動に向けた団体、指導者の育成・支援
			(2) 利用しやすい施設の提供	① 利用しやすい施設の整備 ② 利用しやすい施設の運営
		4 地域文化	(1) 歴史や伝統の保護・活用	① 文化財の保護・活用・伝承支援 ② 地域資料の専門的調査研究とその成果の展示・公開 ③ 小・中学校等と連携した学習活動
			(2) 芸術文化の振興	① 芸術文化の活動の充実支援 ② 発表と鑑賞の機会の充実支援
			(3) 地域文化によるまちづくり	① 地域文化の発信 ② 地域間・都市間交流の推進
4	環境・市民生活・コミュニティ	1 環境	(1) 住み良い環境づくりの推進	① 自然環境の保全と再生 ② 生活環境の保全 ③ 動植物の適切な保護と管理
			(2) 低炭素・循環型社会の推進	① 環境に配慮した取組の推進 ② 温室効果ガスの抑制の推進
			(3) 環境教育・環境学習の推進	① 環境意識の向上 ② 環境美化の推進
		2 ごみ処理	(1) ごみの減量・リサイクルの推進	① 排出抑制の推進 ② 資源化の推進
			(2) ごみ処理体制の充実	① 収集・運搬の充実 ② 計画的な施設整備の推進
		3 市民生活	(1) 消費者の自立支援の充実	① 消費生活相談の支援
			(2) 安心できる葬祭の場の提供	① 斎場の適正な管理運営 ② 墓地の設置状況の把握 ③ 火葬場設置検討の推進
		4 コミュニティ	(1) コミュニティ活動の推進	① コミュニティづくりの促進 ② コミュニティ活動の活性化
			(2) 活動施設の充実	① 利用しやすい施設の整備・運営
		5 市民活動	(1) 市民活動への支援	① 市民活動の育成支援 ② 市民活動への参加促進
			(2) 市民活動環境の充実	① 市民活動拠点の充実

章	政策分野	大柱	中柱	主な小柱
5	都市基盤・産業振興	1 土地利用	(1) 利便性の高いまちづくり	① 適正な土地利用 ② きめ細かな交通ネットワークの形成 ③ にぎわい・活力のある拠点の形成
			(2) 特性に応じたまちづくり	① 土地区画整理事業による良好な環境形成 ② 地域にふさわしいまちづくりに向けた活動の推進 ③ 地区特性に応じた計画的利用の促進
			(3) 人中心のまちづくり	① 居心地の良い空間づくり ② 公共空間の利活用
		2 道路交通	(1) やさしさに配慮した道づくり	① 幹線道路網の整備 ② バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した道路空間の整備 ③ 環境・景観に配慮した歩行者空間の整備
			(2) 良好な交通環境づくり	① 安全・快適な交通環境の整備 ② 公共交通網などの充実・整備 ③ その他交通施設などの充実・整備
		3 みどり・景観	(1) まちの骨格となる緑づくり	① 武蔵野の原風景を継承する緑の保全 ② 市民生活のうろおいとしての農地の保全 ③ 計画的な緑づくり
			(2) うるおいのある生活環境づくり	① 水と緑のネットワークの充実 ② 水と緑のうるおいのある市街地の形成 ③ みどり空間の魅力向上
			(3) まちの魅力を生み出す景観づくり	① まちのうるおいとなる景観形成 ② 地域資源を生かした景観形成
		4 住宅	(1) 安心で快適な住環境の整備	① 空き家対策の推進 ② 良質な住宅ストック形成の促進
			(2) 安定した住生活の確保・支援	① 住宅確保要配慮者への居住確保の促進
		5 上下水道整備	(1) 上水道の整備・充実	① 基幹管路の耐震化・老朽施設の更新 ② 水道事業の健全経営
			(2) 公共下水道の整備	① 下水道施設更新事業の推進 ② 雨水浸水対策の推進 ③ 下水道事業の健全運営
		6 産業活性化	(1) 魅力ある商業機能の形成	① 総合的な商店街活性化の促進 ② 商店街の機能向上 ③ 市内事業者の魅力の発信 ④ 市民ニーズにマッチした商業機能の充実
			(2) 中小企業の経営基盤の強化	① 経営への支援 ② 人材育成と組織強化の支援 ③ 情報収集と相談機能の充実
			(3) 企業誘致の推進	① 産業利用に向けた土地利用の推進
			(4) 都市農業の振興	① 都市農業の振興 ② 農地の保全
		7 産業の育成と支援	(1) 産業育成のための連携強化	① 情報の収集と発信 ② 産業ネットワークの強化 ③ 地域に密着した産業の振興 ④ 農業経営基盤強化のための連携
			(2) 起業・創業の支援	① 支援体制の充実 ② 新たな産業の創出
		8 勤労者支援	(1) 勤労者支援の充実	① 働きやすい環境の整備 ② 労働相談の充実
			(2) 雇用の促進	① 雇用の促進 ② 就職希望者に対する支援の充実

章	政策分野	大柱	中柱	主な小柱
6	基本構想を推進するために	1 人権・多様性の尊重	(1) 人権教育・啓発活動・問題解決に向けた支援	① 学校教育における人権教育の推進 ② 社会教育における人権教育の推進 ③ 人権啓発活動の推進・推進体制の充実 ④ 相談や連携による人権問題解決の支援
			(2) 男女共同参画・性の多様性	① 男女平等の意識づくり ② 男女平等が実感できる生活の実現 ③ 性の多様性に対する理解の促進
			(3) 多文化共生	① 外国人市民が暮らしやすいまちづくり ② 多文化共生への理解の推進
		2 市民参画・協働	(1) 市民参画と協働の推進	① 参画の機会の充実 ② 地域に関与する市民や団体の支援
			(2) 情報提供の充実と市民ニーズの把握	① まちづくりに関する情報の提供 ② 市民ニーズの把握
		3 行財政	(1) 総合計画の推進	① 計画的な施策の推進 ② 行政評価の推進
			(2) 公平・適正な負担による財政基盤の強化	① 計画的な財政運営 ② 効果的な財政運営 ③ 税収などの確保
			(3) 公共施設の効果的・効率的な管理・運営	① 公共施設の計画的な管理・運営 ② 効果的・効率的な公共施設の維持管理
			(4) デジタル化の推進	① デジタル技術の適正かつ効果的な活用 ② 市民に寄り添うデジタル化
			(5) 機能的な組織づくりと人材育成の充実	① 柔軟で機能的な組織運営 ② 職員の能力開発と人材の確保
			(6) シティ・プロモーションの展開	① シティ・プロモーションを展開するための協力連携 ② 市の魅力となる地域資源の発掘と活用 ③ 効果的なメディアの活用推進